



## お母さんにもやさしい母乳育児

母乳育児に取り組み始めて 13 年、ユニセフから「赤ちゃんにやさしい病院」(BFH)の認定を受けて 3 年を迎えました。認定当時は「母乳育児って、赤ちゃんにはやさしいけど、お母さんに厳しいんでしょう?」と悲しい声も聞こえていましたが、近頃はようやく聞かれなくなりました。

「やさしい」ケアは、母乳だけが目的ではありません。スタッフは、認定当初は認定というプレッシャーに、「母乳」に必死であったように思います。必死であったらお母さんたちが幸せになるわけではありません。残念ながら、その頃は助産師の一方通行のケアだったのではないかと分析しています。今では、お母さんに寄り添うことを第一にケアをしています。その成果が、赤ちゃんにもお母さんにもやさしい対応の実践に現れていると思います。必要なときには、人工栄養を与えます。

では、お母さんたちはどうしたら良いのでしょうか? 赤ちゃんは、産まれたら誰もが必ずゴクゴクとおっぱいを飲んで、お腹いっぱいになったら眠る訳ではありません。赤ちゃんの個性で、お腹いっぱいでもママに甘えて泣いている児もいれば、お腹が空いているはずなのにスヤスヤと寝ている児もいます。ママのおっぱいもみんな形が違い、飲みやすい形や硬い軟らかいなどさまざまです。赤ちゃんとママの個性の組み合わせですから、前回と今回が同じであるのは、確率の問題です。産まれてみなければ分からないのですから、妊娠中からおっぱいを良い状態しておくことが大切です。

「こんなはずじゃなかった...」「どうして私ばかり...」などと思わず「赤ちゃんは、泣くもの」「甘えんぼちゃん!」「何とかなるさ!」と捕らえることが、ポイントです。長い子育ての期間色々なことが起こります。一ヶ月過ぎると赤ちゃんも大きく成長しますから、足りないのでは? 枯れてきてる? などと思われるかもしれませんが、成長過程の変化の状態です。一人で悩まずにいつでもご連絡ください。最近多くのお母さんから電話相談をいただいており、大歓迎です。

2 月から、色チームメンバーを改定しました(右表)。どのチームもお母さんたちの力になるよう張り切っています。どうぞよろしくをお願いします。

【巴亦 圭子(みまた けいこ) 産婦人科(A4)病棟看護師長】



おっぱいが大好きな村上佳穂ちゃん

## 色チームメンバー改定

中堅助産師がチームリーダーになり、よりアクティブに楽しい母乳育児のお手伝いをしていきます。

赤チーム	黄チーム	青チーム	橙チーム
澤田 麗子	牧野 綾子	佐々木幸子	池田 花子
田下 涼子	山岸 友紀	蕪木 有紀	土田 和紀
須貝亜希子	斉藤 真紀	高野 留美	坂井加代子
村上恵理子	古俣 真弓	加藤 千裕	川沼 佳子
西潟あゆみ	津端 由香	熊谷 恭子	山本真由美
後藤 亜紀	泉井 幸	加藤 美典	堀田 一世
田辺智恵子	伊勢亀千紘	青野 香	市村 千恵
池田久美子	佐藤 紘子	三富 好美	野村 香織
小林 朋子	伊藤 優衣	小林 由香	前田きみ子
坂井 直子	小嶋久美子	小林亜紗美	大泉菜穂子
	清水千香子		中村 円

氏名の文字色の凡例 赤:チームリーダー、橙:サブリーダー、青:副看護師長、緑:外来助産師

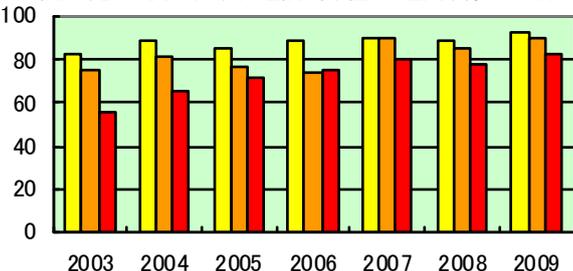
## 入院中の糖水、ミルクの補足率は 22.6%

当院の完全母乳率は年々向上し、退院時で 92.9% 1カ月時でも 82.6%に達しています(下図)。

しかし「何が何でも母乳以外のものは与えない」とヒステリックに行っているわ

けではなく、14.6%の赤ちゃんに糖水が、12.7%にミルクが補足されています。日本母乳の会のデータブックによれば、全国 54 の赤ちゃんがやさしい病院でも、出生した計 23196 児のうち入院中に母乳のみで栄養されたのは 17377 児(74.9%)で、補足率は 25.1%となっています。

当院の完全母乳率(黄:退院時、橙:2週間、赤:1カ月)



## FAQ(よくある質問)コーナー:HTLV-1 検査について

昨年 12 月から、妊婦健診で HTLV-1 の抗体検査が公費助成されています。HTLV-1 とは 7 種類が知られている発がんウイルスの 1 つで、成人 T 細胞白血病(ATL: 白血病全体の約 7 分の 1 に相当)の原因になります。

日本には HTLV-1 の感染者が約 120 万人いると推定されていますが、九州に多いなど地域差が著しく、新潟県は少ない方です。感染者でも実際に ATL を発症する率は、年に 1000 分の 1 程度で、感染者の 95~97.5%は生涯発病しません。潜伏期間も平均 60 年と長く、多くは高齢で発症します。

HTLV-1 ウイルスの最大の感染経路は母乳であり、母親が感染者(キャリア)の場合、母乳により児の 20%が感染します。「赤ちゃんにやさしい病院」である当院としては誠に残念ですが、この場合は人工乳で育てざるを得ません(母乳を凍結する方法もありますが)。HTLV-1 の抗体検査の公費助成は、60 年後に日本からこのウイルスを無くして(完全にゼロにはできません)が、いこうとする、一大国家プロジェクトといえます。

発がんウイルスといえば、子宮頸がんの原因となる HPV(ヒトパピローマウイルス)が、ワクチンの登場もあり話題になっています。HPV の感染は HTLV-1 のような母子感染ではなく性交渉が主で、性道徳の乱れが近年の子宮頸がんの若年化を招いていると指摘されています。HPV ワクチンの公費助成が叫ばれていますが、韓国はもとより米国と比べても著しく貞操観念が低いとされる日本の若者にワクチンを公費助成することが彼らにどんなメッセージを発するか、教育的視点からも十分議論する必要があります。